



# 令和6年度 職員学校評価 (1学期)

鹿児島市立前之浜小学校

評価:とてもよい4 (80%以上)    よい3(60%以上80%未満)    もう少し2(30%以上60%未満)    改善を要す1(30%未満)    3.3以上     2.7以下 

観点	評価項目		自己評価		○成果    ●課題	改善策(自己評価2, 8未満)	
			1学期	総合			
I 信頼される開かれた学校教育の推進	学校教育目標	1 学校教育目標の達成にむけて、各行事反省や学校評価による点検・評価及び見直し・改善等(PDCAサイクル)がなされている。	3.5	3.5	○地域の方にお世話になりながら学校教育を進めて行くことができ、児童もその中で様々な学びを深める機会に恵まれた。		
		2 人権尊重の視点に立った教育活動(教科等指導、生徒指導、学級経営等)や人権教育がなされている。	3.6				
		家庭・連携	3 学級PTA、PTA専門部活動及び学校保健委員会、家庭教育学級等、保護者と協力・連携図られている。	3.6			3.6
			4 地域との連携して地域の特性を生かした教育活動がなされている。(学校支援ボランティア事業の活用、学校運営協議会等)	3.6			
	関係機関・団体・連携	5 幼保小、小小、小中連携やSC、巡回相談員等との関係機関との連携が図られている。	3.2	3.2			
		6 校内研修や各種研修会、自主研修等を通して、教職員としての資質向上に努めている。	3.5	3.6			
		7 学校全体として1アクション(校務の情報化・効率化:ペーパーレス化、データの共有)、各自の1トライ(実践事項)により業務改善がなされている。	3.3				
		8 常に教育公務員であることを自覚して信頼される行動を心掛けている。(飲酒運転・交通違反の防止・体罰・情報管理・金品管理等)	3.9				
II 確かな学力の定着	9 「前之浜スタイル」による主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを実践している。(効果的なICT活用:研修テーマとの関連)	3.3	3.2		○各教科平均70点以上は取れている。基礎的な知識が身につけている。		
	10 学力の確実な定着を図っている。(100点になるまで)(めあてとまとめの板書、小テスト、指導の個別化・学習の個性化)	3.2		○ICTを活用しながら学習を進めていく機会を増やし学年に応じた使い方が出来るようになってきた。宿題など家庭の協力の元、家庭学習を毎日進めることができた。			
	11 各学年に応じた情報活用能力の育成の指導がなされている。(ICT機器活用、プログラミング教育、情報モラル教育)	3.2		●思考力を求められる問題の正答率が低い。			
	12 家庭と連携した個に応じた家庭学習の充実が図られている。(10分×学年+20分、内容の充実、読書習慣の定着)	3.1					
III 豊かな心の育成	13 全職員による生徒指導態勢をとり、早期発見・対応に取り組んでいる。(定期アンケート、教育相談、人間関係づくり、心の教育推進委員会等)	3.6	3.4	○さん、くん付け、言葉遣いなど、徐々に改善傾向にある。	◇授業時間や休憩時間等言葉遣いや自分勝手な言動が見られたときに指導する。ボランティアや手伝い等他者への思いやりの行動が見られたときは褒めたり声をかけたりする。 ◇具体的な場面でどのようなあいさつをすればよいか示す。(全校朝会や道徳等を活用する)継続して教職員からあいさつをする。		
	14 道徳科を中心とした道徳性の育成がなされている。(道徳科授業の充実、各教科・活動(緑化活動、ボランティア活動等)との関連)	3.5		○朝5・6年児童が玄関掃除等に取り組んでいる様子が良い。			
	一事徹底事項「相手の心に届くあいさつ」の指導と見届けがなされている。(礼儀・規範意識の向上、挨拶、生活のきまり等)	3.2		○道徳で学んだことが、他の時間にも話題に出てくるなど心に残っている姿が見られる。縦割り活動など、高学年が低学年の世話をよくしている姿もよく見られる。			
	16 読書活動の充実が図られている。(読書環境や行事の工夫、読書目標数の達成)	3.4		●まだまだ言葉遣いが課題である。相手の立場に立った考えができるようにしたい。			
	17 学級活動、係・委員会活動、縦割りの活動、学校行事等において子供の個性やよさを引き出す場の設定がなされている。	3.4		●子供達からあいさつをすることが少なく、先生方から先にあいさつをしてそれに対応する様にあいさつをしている姿が見られる。			
IV 気力・体力の向上	18 教科体育・体育的行事等を通して体力・運動能力の向上の取組がなされている。(「一校一運動」なわとび、「ちよトレ運動」)	3.5	3.4	○朝のランニングが習慣化してきた。体力の向上が見られる。取り組んでいる児童とそうでない児童の差が大きいのではないかと。体力向上に向けては良い取組だと思おうので委員会活動から発信できると良いと思う。	◇朝外に出て体力作りをしようとする姿が習慣化してきているので、高学年や児童代表保健委員会から提案をさせて活動を継続できるようにする。		
	19 月目標や健康診断結果をもとに、基本的健康習慣の定着がなされている。(「早寝・早起き・朝ご飯・睡眠」、メディアコントロール等)	3.4		○月の目標がクラスの1日のめあてになること多く、一人ひとり意識して取り組もうとする姿が見られた。			
	20 防災教育、避難訓練、安全指導等を通して危険予知能力や危険回避能力の育成がなされている。	3.4		○チャレンジかごしまの取組の強化を図りたい。朝は縄跳びとランニングなど、個人で選ばせて活動させてもよい。 ○2校時休みの感染症予防の音楽放送は、しばらく中止し、感染拡大期に放送するようにしたいと考えている。			